

## 平成 20 年度地球シミュレータ共同プロジェクト 申請書 記入要領

### << 注意事項 >>

○地球シミュレータ共同プロジェクトは平成 20 年 9 月末日で原則終了とさせていただきます。

- ◇継続プロジェクトにつきましては、9 月末日までに終結するようご提案ください。
- ◇平成 21 年度以降の運営方針につきましては、今後改めて当機構において検討します。

平成 20 年度地球シミュレータ共同プロジェクト公募の審査においては、「平成 20 年度地球シミュレータ共同プロジェクト申請書」（以下「申請書」という。）を審査の際の資料とします。

申請書の記入にあたっては、以下の注意・説明をよく読んでください。

### 1. 記入にあたっての注意

- (1) 申請書は、プロジェクト責任者が責任を持って作成、提出をしてください。
- (2) 申請書は、所定の様式を使ってください。また、様式の改変は認めません。
- (3) 申請書の様式のうち、2. に明記している頁以外は、用紙を追加することはできません。
- (4) 申請書に記入漏れや誤記入、不明瞭な点がある場合には、審査の対象外となったり、誤ったままの状態審査されることとなりますので、十分注意して申請書を作成してください。
- (5) 申請書の記入は、原則として日本語とします。
- (6) 申請書の記入フォントサイズは、12 ポイントが望ましい。（小さくとも 10.5 ポイントまで）

### 2. 記入内容の説明

項 目	記 入 内 容
申請日	申請書を提出する日を書いてください。
受付番号	センター側で記入しますので、何も記入しないで下さい。
申請区分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回新たに申請するプロジェクトは、「新規」と記入してください。</li> <li>・ 旧年度に実施していた同一プロジェクトが新年度も継続して申請する場合は、「継続」と記入してください。</li> </ul>
申請機関	申請機関とは、プロジェクト責任者の所属する機関です。申請機関と申請機関代表者を記入し、申請機関承認印の欄に公印を押印してください。申

	請機関代表者とは、所属する機関で規定された機関の長(もしくはそれに相当する権者)をいい、公印とはその印を指します。
プロジェクト責任者	プロジェクト責任者の氏名、国籍、所属機関・部局・職(申請時の職)を記入し、印(認印可)を押印してください。複数の機関に所属している場合はスラッシュ(/)で区切って併記してください(〇〇大学〇〇学部教授/...)。 連絡先住所等は、最も連絡の取りやすい場所を記入してください。その場所が前述の所属機関と異なる場合は住所に続けて機関名も記入してください。

項目	記入内容
研究分野	以下の3つの研究分野のうち、申請するプロジェクトの研究テーマに該当する研究分野を記入してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地球科学分野 (大気・海洋、固体地球)</li> <li>・ 計算機科学分野</li> <li>・ 先進・創出分野</li> </ul> なお、記入されている研究分野が不適当な場合、審査の結果研究分野が変更になることがあります。
プロジェクト名	プロジェクト名を日本語、英語共に記入してください。プロジェクト名は、研究の内容が具体的に分かるものにしてください。 (不適切な例:「次世代大気大循環モデルの開発」)
必要とするノード時間積	必要とする平成20年度年間総利用ノード時間積(ノード数×時間)を記入してください。
研究内容(概要)	プロジェクトの研究内容の概要を記入してください。

プロジェクトメンバー一覧	このプロジェクトメンバー一覧には、地球シミュレータを使う、使わないに関らず、当該研究プロジェクトに参加している方全てを記載してください。 ※ メンバーが40名以上になる場合はこのページをコピーして、番号を41番から振りなおして記入してください。 「ES利用」欄・・・メンバーの内、地球シミュレータを使う方には、「ES利用」欄に「○」を付けてください。 「備考」欄・・・次に該当するものがあれば「備考」欄に記載してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「新規」(新規登録者)</li> <li>・ 「所属変更」(前回の登録時から所属が変更になった者)</li> <li>・ 「削除」(前回までの登録メンバーで、今回メンバーを外れ</li> </ul>
--------------	---

	<p>た者)</p> <p>末尾のプロジェクトメンバー(責任者含む)合計数と、ES 利用者の合計数を記入してください。</p>
--	---

項目	記入内容
研究内容	プロジェクトの研究内容の詳細を、いつまでにどのような成果をあげ、いつ研究が完了するかという観点から記入してください。
	継続申請の場合は、これまでに得られた画期的な研究成果を記入してください。

研究の意義	プロジェクトの研究の意義を記入してください。特に、この研究を行うことにより、国民・社会生活に大きく貢献する、あるいは、基礎科学研究で飛躍的な成果が期待できるか、またその時期という観点から記入してください。
地球シミュレータを用いて初めて画期的な成果が期待できる理由	プロジェクトが、地球シミュレータを用いて初めて画期的な成果が期待できる理由について記入してください。
特許権等取得見込件数	プロジェクトを実施した結果、特許権等を取得する予定がある場合はその件数を記入してください。継続申請のプロジェクトは、既に取得した件数も記入してください。

本研究に関して過去に発表した論文	<p>プロジェクトに関係する過去に発表された論文の発表先、発表時期、論文のタイトル及び 発表者を全て記入してください。</p> <p>※ ページが足りない場合は、このページをコピーして記入してください。(最大2ページまで追加可。)</p>
<p>継続申請の場合、これまでに得られた成果に関して地球シミュレータを用いたことを広報した新聞・雑誌記事、テレビ・ラジオ番組等の広報先、広報時期、記事・番組のタイトル他を記入してください。</p>	

プログラムの情報	<p>プロジェクトで計算するプログラムについて各項目を記入してください。</p> <p>※ ページが足りない場合は、このページをコピーして記入してください。</p> <p>なお、並列化率については以下を参照してください。</p> <p>参照:「公募要領 - I」2. 利用条件等</p> <p>&lt;参考&gt;「並列化率と並列化効率の関係について」</p>
----------	--

<p>地球シミュレータで必要となる最大ディスク容量とその根拠</p>	<p>プロジェクトで必要となる最大ディスク容量を HOME 領域、DATA 領域、M-DISK 領域の各項目について記入してください。また、その算出した使用量の根拠を記入してください。（プログラムが複数ある場合、各使用量は複数あるプログラムの合計値を選択し、根拠は各プログラムについてそれぞれ記入してください。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ HOME 領域は 128KB のブロックサイズで構成され、ソースプログラム等小容量データを扱う領域です。</li> <li>※ DATA 領域は 4MB のブロックサイズで構成され、入出力データ等大容量データを扱う領域です。</li> <li>※ M-DISK 領域は HDD と MT の階層型ファイルシステムで構成され、大規模データを扱う領域です。</li> <li>※ HOME・DATA 領域には開発中のプログラムか解析中のデータのみを置き、それ以外の入出力データ等は M-DISK 領域を使用してください。</li> </ul>
------------------------------------	---

<p>地球シミュレータ利用者 詳細情報記入欄</p>	<p>地球シミュレータを利用する人の氏名、国籍、所属機関・部局・職（申請時の職）を記入してください。（国籍によっては役務申請等必要な場合があります。）複数の機関に所属している場合はスラッシュ（/）で区切って併記してください（〇〇大学〇〇学部教授／・・・）。</p> <p>連絡先住所等は、最も連絡の取りやすい場所を記入してください。その場所が前述の所属機関と異なる場合は住所に続けて機関名も記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ ページが足りない場合は、このページをコピーして記入してください。</li> <li>※ 地球シミュレータを使わない人についてはこの欄に氏名等を記入する必要はありません。</li> </ul>
----------------------------	---